

『井土ヶ谷上町第一町内会地区 防災まちづくり計画』を 地域まちづくりプランとして認定 地域一丸となって、防災まちづくりを推進していきます！

井土ヶ谷上町第一町内会地区は、戦前から市街化が進み、昔からの道路等の基盤のままで宅地化が進行したため、緊急車両の通行をはじめとして、防災の観点から課題の多い地区となっています。一方でこの地区は、かつては花街でもあり、現在の町内会館の建物は、芸妓の練習場等として使われていたもので、地区の歴史を語るものの一つとなっています（横浜市の歴史的建造物として認定済）。

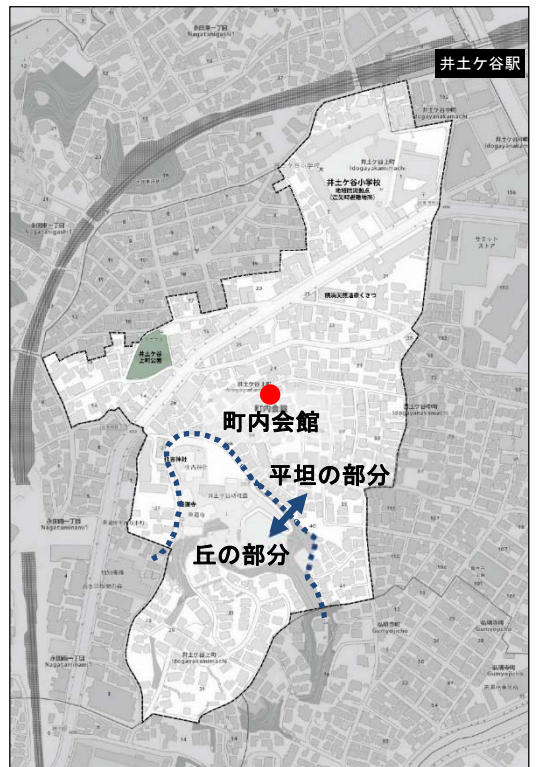
この度、横浜市地域まちづくり推進委員会での審議を経て「井土ヶ谷上町第一町内会地区 防災まちづくり計画」とその運営主体である「井土ヶ谷上町第一町内会」が、地域まちづくりプラン及び地域まちづくり組織として、横浜市地域まちづくり推進条例に基づく認定を受けました。

今後は地域が主体となって、計画の実現を目指した取組を進めていきます。

■これまでの経緯

井土ヶ谷上町第一町内会は、平成26年から勉強会を立ち上げ、防災まちづくりの検討を進めるとともに、「通り抜け通路の確保」や「スタンドパイプの配備」など、できることからまちを改善してきました。

勉強会では、当地区の防災まちづくりの考えやプロジェクトを取りまとめ、町内会を中心とした地域住民、事業者、行政、などが協力しながら、共通の目標実現に向けて取り組むための「井土ヶ谷上町第一町内会地区 防災まちづくり計画」を作成しました。



通り抜け通路の確保



スタンドパイプの配備



町内会館 復元イメージ
(耐震性、耐火・防火性能の向上等)

■地区の課題と目標

当地区は、密集した木造家屋や、幅員の狭い路地や行き止まりの路地、急傾斜地に囲まれたエリアなどがあり、地震等の大規模災害時に大きな被害が出る恐れがあります。

目標

井土ヶ谷上町第一町内会地区では、防災まちづくりの取組を通じて、いろいろな世代の人が安心して、末永く、コミュニケーション豊かに暮らすことのできるまちを目指します。

